

## ■ 「レコフ M&A データベース」 操作のワンポイントアドバイス

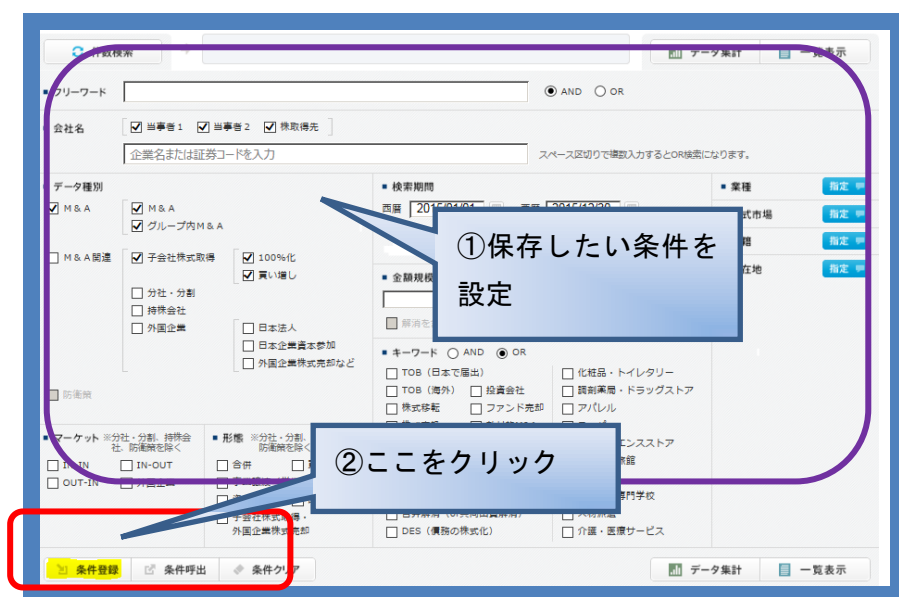
### 【第 69 回】『1 クリックで完了するルーティン作業向け検索条件指定方法』

定期的に同じ検索条件で資料を作成する、一時的にデータベースでの作業を中止するという場合、再度入力しなおすのは意外と手間がかかります。あらかじめ「条件登録」をしておけば、「条件呼出」で簡単に設定しなおせます。以下、条件登録方法等をご紹介します。

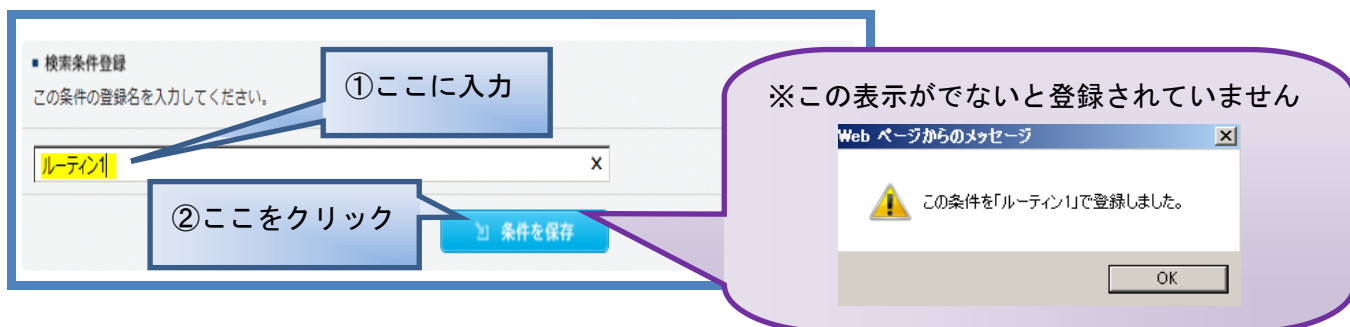
#### 【検索条件指定】画面 —条件登録する

1. 保存したい条件設定を行います。のほかに、フリーワードや会社名には文字入力、金額規模には数字などを入力したら左端の「条件登録」をクリック

**※50 件まで保存できます。**

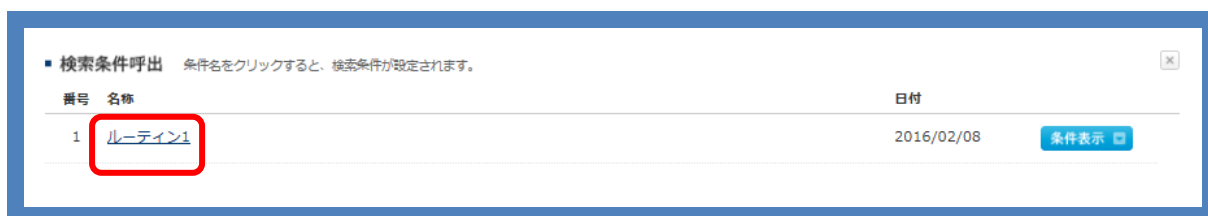


2. 検索条件登録画面が出たら登録名を入力。Web ページからのメッセージを確認。OK ボタンを押す。



#### 【検索条件指定】画面 —登録条件を呼び出す

1. 左端の「条件呼出」をクリックして以下の画面を表示、設定したい「条件表示」を保存した名称(ここでは「ルーティン 1」)をクリックすると呼出画面が消え、保存条件が指定された状態の【検索条件指定】画面が表れます



**※保存した条件を忘れてしまった場合には右端の「条件表示」ボタンをクリック**

※※条件表示したまま、保存条件を呼び出すためには右下の「呼出」ボタンをクリック

検索条件呼出 条件名をクリックすると、検索条件が設定されます。

番号	名称	日付
1	ルーティン1	

設定内容:

- データ種別: M & A M & A
- マーケット: IN-IN
- 形態: 合併
- 検索期間: 2015/01/01~2015/12/30 (公表日など)

操作ボタン: 条件隠す, 呼出, この条件を削除

Callout 1: 「ルーティン1」の設定内容

Callout 2: ここをクリック

Callout 3: 設定内容表示が長くて邪魔ならここをクリックして隠せます

※登録した条件が不要になったら「この条件を削除」ボタンで削除できます。

以下の表示ができれば削除されています

Web ページからのメッセージ

条件「ルーティン1」を削除しました。

OK